

@INTERVIEW

Sho TSUBOI #38

38号車 ドライバー 坪井 翔

チャンスは裏腹に

Sena SAKAGUCHI #39

39号車 ドライバー 阪口 晴南

Yuji TACHIKAWA

監督 立川 祐路

@Race Archive Rd.3 Suzuka Circuit

雨ニモ 風ニモ マケズ マケズ



Today's Race Rd,4
AUTOPOLIS
5.21SAT/22SUN

Vol. 3



SUPER FORMULA 2022

P.MU/CERUMO·INGING Race Report

NEWS PAPER

Take Free!

@Race Archive

Rd.3 Suzuka Circuit

レースアーカイブ Round.3 鈴鹿サーキット

予選 4月23日(土) 天候 晴れ 路面 ドライ 4月9~10日に静岡県富士スピードウェイで開催された第1戦/第2戦からわずか2週間。2022年の全日本スーパーフォーミュラ選手権は、舞台を三重県の鈴鹿サーキットに移し第3戦を迎えた。世界屈指のドライバーサーキットで、坪井翔、阪口晴南のふたりのドライバーにとっても気分が入るコースのひとつ。第1戦/第2戦と今回の第3戦の間に SUPER GT の開催もあり、チーム、ドライバーともに非常に多忙なスケジュールのなかではあったが、富士での不調を打開すべく、鈴鹿サーキットへ乗り込んだ。

第1戦/第2戦富士では「レースウィークまでにバランスが大きく変わってしまった」という坪井だが、この第3戦鈴鹿では「少しバランスは変わっていますが、公式テストのときのようなフィーリングで走れている」と好感触を得ており、「今回の予選は楽しみですね」と期待をもたせるコメントを残していた。一方の阪口は「富士とは異なるところを注目していてもいいですが、それが今のところ実っていない」と苦しみながら予選を迎えることになった。

坪井、2番手でQ2進出

午前のフリー走行の後、スーパーフォーミュラ・ライツの予選、ひさびさにドライバーたちもピット前に立ったピットウォーク、さらに今回併催となっている二輪 JSB1000 の決勝レース1を経て、午後3時10分からスーパーフォーミュラの公式予選がスタートした。今回、Q1のA組からは坪井が出走した。薄曇りでやや風があるなか、気温24度、路面温度31度というコンディションのもと、第1戦同様、ウォームアップに手ごたえがあった坪井は、ややタイミングをずらし残り7分でピットアウト。一度ピットに戻った後、残り3分のタイミングを狙い再度コースイン。タイヤをウォームアップさせアタックに入っていた。3周目、セクター2、3と最速タイムをマークしてきた坪井は、1分36秒944を記録。2番手でQ2進出を果たした。

阪口、フリー走行での苦しさが続く

続いて午後3時25分にスタートしたQ1のB組に出走したのは阪口。コースオープンとともに一度ピットアウトすると、坪井同様一度ピットイン。残り5分で再度コースインし、2週のウォームアップを使ってアタックに入っていた。ただ、フリー走行での苦しさはまだ続き、1分37秒924と午前中からタイムを上げたものの、結果は10番手。Q1で予選を終えてしまった。Q1の後、午後3時45分からスタートしたQ2。坪井は残り3分までピットでステアアウトし、コースインした後しっかりとタイヤを温めアタックラップに入っていく。

自信をもってアタック

直前のQ1でも好調であったことから、ポールポジション獲得への自信をもってアタックしていった坪井は、セクター3で最速タイムを記録しノーミスのアタックを展開する。ただライバルたちのタイムの上げ幅が大きく、チェッカー時点での結果は5番手というものの、さらにその後2台がタイムを伸ばし、最終的に坪井の予選順位は7番手となった。午前のフィーリングが良かっただけに、坪井にとっては悔しい結果に。最終的に、予選での妨害行為によって#18 国本雄資が3グリッドダウンとなることから、P.MU/CERUMO・INGINGは坪井が6番手、阪口が20番手から決勝レースを戦うことになった。

決勝 4月24日(日) 迎えた4月24日(日)は午前8時45分から30分間のフリー走行、午後2時30分から31週の決勝レースというスケジュール。予選での厳しい状況を跳ね返し、決勝でのポジションアップを目指しチームは準備を整えていった。

絶妙のスタート

早朝から降り出した雨は終日止むことなく、午後1時42分からスタートした8分間のウォームアップ走行でも雨は降り続けた。路面は午前よりも水量が多い様子で、決勝レースに向けてコースインした坪井は1分58秒627、そして車両修復を終えた阪口は1分55秒849というベストタイムでウォームアップを終えた。

迎えた午後2時30分からの決勝。気温17度、路面温度20度というコンディションのもと、1周のフォーメーションラップを経て切られたスタートでは、坪井、阪口ともに水量が多かったイン側のグリッドだったが、そんななかで坪井が絶妙のスタートを決める。水たまりのため加速が鈍ったというものの、一気に6番手から4番手にポジションを上げ1コーナーに飛び込んだ。後方からは#50 松下信治が坪井のインに仕掛けてくるものの、これをしのぎ4番手につけた。一方の阪口は、1周目にひとつポジションを上げ19番手に。さらに4周目、#36 ジュリアーノ・アレジがスピンを喫したことで18番手。さらに6周目には#53 佐藤蓮を、7周目には#14 大嶋和也をかわすなど、追い上げをみせはじめた。

まさかの展開へ突入

一方、坪井はまさかの展開となってくる。7周を過ぎるころになると急激にタイヤのグリップを失い、ペースが大きく落ちはじめた。後方につけていた#50 松下にかわされると、8周目には#4 サッシャ・フェネストラズに、さらに9周目には3台にかわされるなど、コースに留まるのが精一杯の状況になってしまった。11周目には、追い上げをみせてきた阪口すらも坪井をオーバーテイク。11周目を終え、チームは坪井を呼び戻し、タイヤ交換を行った。ただ、ピット作業中に左フロントのタイヤ交換に時間がかかってしまい、26秒という長い作業時間となってしまった。坪井にとってはまさに泣き面に蜂。13周目には首位にラップダウンにされてしまった。表彰台を目指したレース前の目論見とは裏腹に、まさかの最後尾となった。

13番手につけ前を追っていくが14周目が近づくと、水量も多く全車が2分フラット程度のラップタイムとなる。阪口もタイヤに厳しさを感じはじめ、15周目には一度は抜いた#53 佐藤にかわされ、さらに18周目には後方から追い上げてきた#19 関口雄飛にかわされ14番手へ。その後#55 三宅淳詞のトラブルでひとつ順位を上げ、さらに29周目には#65 大嶋史樹を抜くなど浮き沈みが激しい展開で、12位でレースを終えた。そして坪井は交換後のタイヤもペースが伸びず、21位でフィニッシュ。悔しいレースとなったが、この経験は無駄にはならないはずだ。

Results	38	予選	7位	決勝	20位	39	予選	20位	決勝	12位
	坪井 翔			阪口 晴南						

Today's Race Rd.4 — AUTOPOLIS 5.21 SAT/22 SUN

@INTERVIEW

坪井 翔 38号車 ドライバー

チャンスは裏腹に

Sho TSUBOI #38

フリー走行では感触も良く、最後にコースアウトはありましたが、その周りに良いタイムが出そうでした。鈴鹿は苦手意識もあったものの午前のフィーリングからチャンスだと思っていました。スタートでは、前戦のクラッチトラブルも見直し、アジャストした結果バッチリ決めることができました。イン側は水も溜まっていて加速が鈍りましたが、2台抜けたのが良かったです。その後はペースも悪くありませんでしたが、5周が過ぎたくらいで急にタイヤのグリップがなくなってしまいました。ドライビングではカバーできないほど危険な状況になり、その後タイヤを換えても改善しませんでした。今回はチャンスだと思っていましたし、調子も良かっただけに残念です。

雨モクズ 風モクズ

Sena #39 SAKAGUCHI

ピットインする人が羨ましくらいタイヤが厳しかった

阪口 晴南 39号車 ドライバー

朝のフリー走行ではスピンのみでしたが、理由が明確だったので逆に心配はしていませんでした。午前の感触は良かったのですが、レース前のウォームアップ、さらにレースと次々にクルマの感触が変わるなど、ロングランはまだ課題を感じましたね。序盤から大変なレースで、途中からはピットインする人がうらやましくらいタイヤが厳しかったです。とはいえその中でもいろいろなヒントもありましたし、もっと上げられる感触もあったと思います。ポイントが獲れれば良かったのですが、そもそも予選でのドライの遅さに原因があるので、チャンスを活かさない状況です。今回のウエットで得られたものもあるので、次戦に繋げたいですね。

悔しい週末だった

Yuji TACHIKAWA 立川 祐路 チーム監督

いいレースになってしまいましたね。今朝からウエットコンディションでしたが、阪口選手は雨のなかで調子が良かったのですが、決勝で長い距離を走る上では、少し足りない部分があったのかもしれませんが、序盤こそ良かったものの、途中からはなかなかペースが上げられませんでした。一方の坪井選手はスタートを決めてくれて頑張ってくれていましたが、途中からタイヤのグリップを失いペースダウンしてしまいました。タイヤ交換を行いました、その後も大きな改善には至らなかったのが、今日速かったライバルとの差がありました。悔しい週末となりましたが、次戦に向けて改善点をしっかり見つけ、さらに頑張っていきたいと思っています。

GET!! 応援グッズ付き観戦券 発売中!!

チームグッズと観戦券がセットになって登場!! セルモ・インギングをGETして応援しよう!! セルモ・インギングからはオリジナルマスクが発売!!

